

## 平成 29 年度 事業・活動計画について

平成 29 年 2 月 1 日 ～ 平成 30 年 1 月 31 日迄

### 1. 農村ホームステイ事業

#### (1) 教育旅行受け入れ事業

##### 1) 春の受け入れ

日程	学校名	人数
5/20 (土) ～21 (日)	奈良学園高等学校	188 名
6/7 (水) ～8 (木)	金蘭千里高等学校	180 名
6/20 (火) ～21 (水)	大阪府立今宮高等学校	280 名
7/11 (火) ～13 (木)	大阪府立刀根山高等学校	400 名
		計 1,048 名

##### 2) 秋の受け入れ

日程	学校名	人数
9/26 (火) ～27 (水)	大阪府立市岡高等学校	320 名
10/4 (水) ～5 (木)	大阪府立生野高等学校	360 名
10/11 (水) ～12 (木)	大阪府立東百舌鳥高等学校	320 名
10/18 (水) ～19 (木)	大阪府立牧野高等学校	400 名
		計 1,400 名

**合計 2,448 名**

#### (2) 食農キャンプ 2017

地元の高校生を対象とした農村ホームステイとして「食農キャンプ 2017」を開催する予定。※夏休み期間（日程未定）

## 2. 事前・事後学習事業

### (1) 事前学習の実施

体験前に高校に出向き、簡単な十勝の説明や農村ホームステイでの注意点を伝える。また、高校生の質問にも答え、ホームステイに対する不安を少しでも取り除く。

### (2) 事後学習について

#### 1) 事後学習の実施

大阪に戻った後に十勝での生活体験を振り返る授業を行う。

#### 2) 事後学習プログラムの作成・提案

次年度以降のさらなる事後学習の充実に向けて、関係者と連携しながら事後学習プログラムの作成及び、次年度以降に来勝する可能性のある高校へ向けて提案を行う。

## 3. 交流事業

### (1) フォトコンテスト 2017

農村ホームステイで生まれた、つながりや愛着を育むことへのサポートとして、「農村ホームステイフォトコンテスト」を実施する。

### (2) 小論文コンテスト 2017

農村ホームステイで生まれた、つながりや愛着を育むことへのサポートとして、「農村ホームステイ小論文コンテスト」を実施する。

### (3) 交流部会について

受け入れ家庭同士の更なる親睦を深め、ホームステイに参画するもの同士の想いを共有する場として交流会を実施し、また、宿泊を伴う慰労交流会を行う。

### (4) 研修部会について

ホームステイ事業の更なる可能性を拡げていく場として、研修会や視察を実施し、また、食の絆フォーラムの内容立案等を受け入れ家庭と共に行う。

### (5) 普及部会の設置について

受け入れ家庭の拡充にむけ、JA 青年部や女性部への働きかけを行い、地域ごとに説明会や勉強会を実施する場を設置する。なお、普及部会長として担当理事を設けることとする。

(6) 各町村単位でのホームステイ写真展の開催（各協議会との共催事業）

2016年2月11日～16日におびひろ市民ギャラリーにて『とから農村ホームステイ写真展』を実施したところ、「各町村でも写真展を実施したい」との声が多数あげられた。そこで、各協議会との共催事業として各町村での写真展を実施する。

4. その他法人の運営に関わるもの（本部管理）

(1) 各団体間及び内部の調整業務

- ・ 学校との調整（農村ホームステイ及び事後学習等）
- ・ 旅行会社との調整・連絡
- ・ 事前学習（学校説明会）の実施
- ・ 来勝学校の開拓・発掘
- ・ 受け入れ協議会との調整・連絡
- ・ 受け入れ協議会間の調整・連絡
- ・ 受け入れ協議会のサポート
- ・ 受け入れ当日のサポート
- ・ 保険等の加入手続き
- ・ 交流・研修・普及部会の事務全般
- ・ 総会、理事会の運営全般

(2) NPO 法人運営に係わる会議・研修会・フォーラム等の準備・実施及び、組織の拡充に係わる活動

(3) 高校生に対する事後交流（つながり拡がり事業）の実施協力